

米軍機の安全管理の徹底等について（要請）

「平成 21 年 2 月 17 日、第 27 戦闘攻撃飛行隊所属の F/A - 18 E が左翼フラップから部品を落下させた」との連絡を受けました。

現段階では、落下物及びそれによる被害は確認されておりませんが、航空機からの部品の落下は大きな被害をもたらす可能性があります。

神奈川県基地関係県市連絡協議会では、これまで、機会あるごとに、飛行の安全対策等の確立を要請してきたところではありますが、厚木基地所属の航空機によって、平成 19 年 2 月、4 月に左補助翼フラップや主翼保護部品の落下事故と繰り返し事故を発生させており、再び、こうした事態が生じたことは、米軍機の安全管理等に対する不安を県民に与えるものであり、誠に遺憾であります。

責職におかれては、今後、米軍機の事故が起きることのないよう、次のことについて、万全の対策を講じることを(米軍に申し入れるよう)改めて強く要請します。

() 内は日本側への要請に挿入します。

- 1 航空機の確実な整備点検の実施など、安全管理を徹底すること。
- 2 今回の部品紛失の経緯を十分調査し、早急にその原因を究明し、再発防止に万全を期すること。また、これらにつき速やかに公表すること。
- 3 航空機に関する事故については、被害確認や二次災害防止の観点から、発生の可能性が判明した段階で速やかに公表すること。

平成 21 年 2 月 18 日

在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	} 殿
厚木航空施設司令官	エリック・W・ガードナー大佐	
外務大臣	中曽根 弘文	
防衛大臣	浜田 靖一	

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長	神奈川県知事	松沢 成文
副会長	横浜市長	中田 宏
副会長	横須賀市長	蒲谷 亮一
副会長	相模原市長	加山 俊夫
	藤沢市長	海老根 靖典
	逗子市長	平井 竜一
	大和市長	大木 哲
	海老名市長	内野 優
	座間市長	遠藤 三紀夫
	綾瀬市長	笠間 城治郎